2026_1025「３Ｄプリンターで作ったユトロンのマグネット」日々の理科 4459 号

お茶の水女子大学　サイエンス＆エデュケーション研究所　田中　千尋

・

スウェーデン北極圏の夏を代表する野生の果実が、ユトロンです。スウェーデン語では Hjortron、英語では Cloudberry（クラウドベリー）、和名はホロムイイチゴ（幌向苺）、学名は ***Rubus chamaemorus*** です。北欧からシベリア、北アメリカなどの寒冷地に広く分布し、湿原に生育するバラ科の植物です。日本でも北海道などに自生しています。

ユトロンの果実は小さな粒が集まった形をしています。興味深いのは成熟に伴う色の変化です。一般的なイチゴ類は緑色から赤色に変化しますが、ユトロンは未熟なときに赤く、熟すにつれて黄色から琥珀色に変わります。これは赤色系色素の減少などによるもので、その生態学的な理由には未解明の部分もあります。夏のスウェーデンでは豊富に採れ、子どもたちの小遣い稼ぎにもなります。そのまま食べても美味しく、ジャムに加工しても絶品です。

このユトロンを３Ｄプリンターで再現し、マグネットを作ってみました。黄色い果実と緑色の葉を別々に造形して組み合わせています。工夫したのは葉の立体感です。最初は平面的に造形しましたが、再び約 70℃に温め、冷めないうちに指で曲げて自然な形に整えました。完成品を並べてみると、スウェーデンのお土産物店で見かけたマグネットとそっくりです。北極圏の夏の思い出を、小さな立体作品にすることができました。

